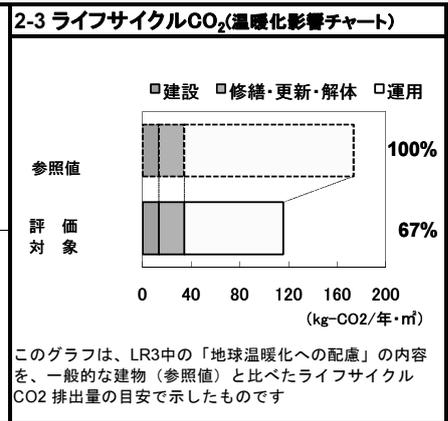
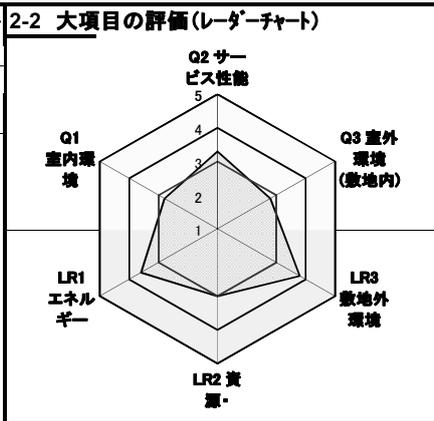
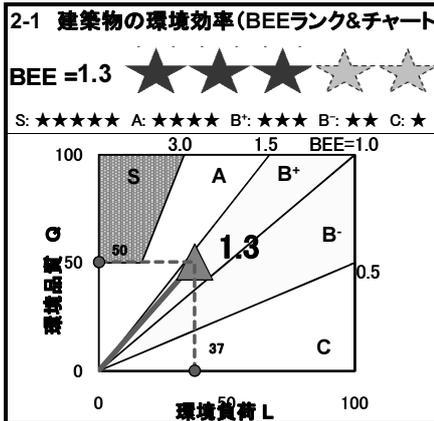
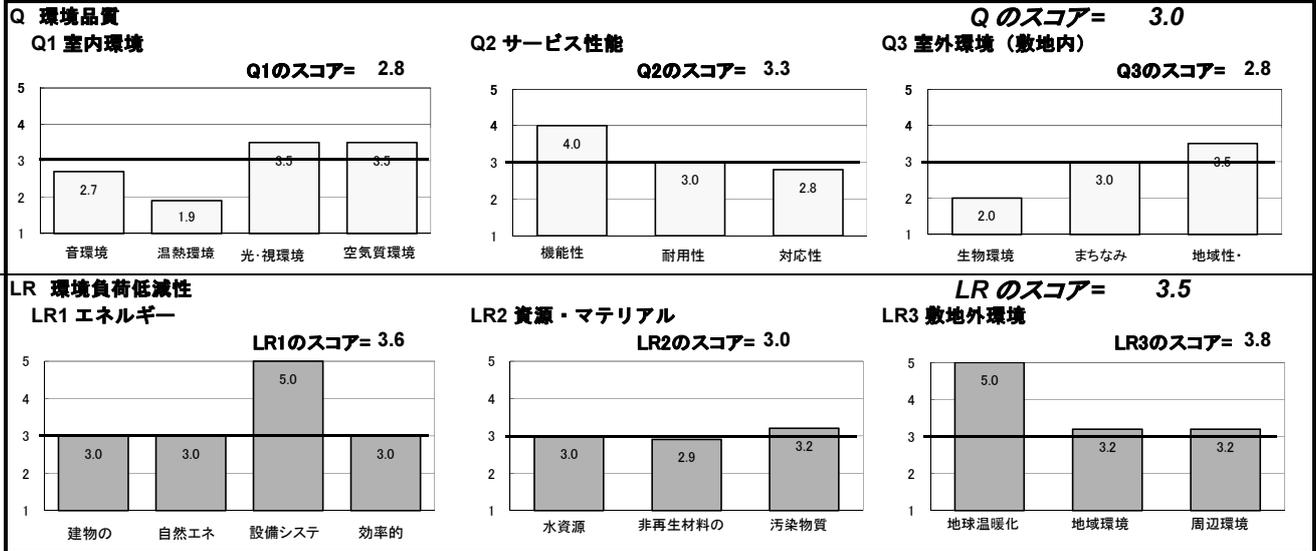


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	嵐山寮特養新築移転プロジェクト	階数	地上2F、地下2F
建設地	京都府京都市右京区太秦中山町15	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域	平均居住人員	職員90人、入居者120人
気候区分		年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年10月 予定	評価の実施日	2010年11月10日
敷地面積	10,033 m ²	作成者	株式会社 都市居住文化研究所
建築面積	2,085 m ²	確認日	2010年11月12日
延床面積	5,015 m ²	確認者	株式会社 都市居住文化研究所



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
計画地は、市街化区域と市街化調整区域に跨る敷地であり、風致第一種地域に属している敷地となる。建物としては、風致地区内の住環境整備に沿った建物外観としている。施設入居者への生活環境においては、内部空間だけではなく、屋上緑化部分での憩いの場、外部環境(緑化外構部分)を取り入れた環境を提供し、入居者のメンタルケアの要素及び身体能力低下を抑制できればと考えている。		
Q1 室内環境 建材にF☆☆☆☆を使用。 建物全体を禁煙としている。	Q2 サービス性能 ゆとりのある個室を確保。 快適な空間を考え内装計画を立てた。	Q3 室外環境 (敷地内) 保全緑地を取り込みながら緑化計画に最大限努め、出来る限りの緑地を設け良好な景観を形成した。
LR1 エネルギー 建築物のエネルギー使用の合理化促進に努めた。 設備機器の効率的な利用に配慮し、ERRが41.3。	LR2 資源・マテリアル ハロン消火剤を使用しない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量が、一般の建物の67%と地球温暖化への配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される